

セットアップガイド

I-O DATA

M-MANU200723-01

DVR-U24E

この度は、「DVR-U24E」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

対応機種 ^{※1}	USB 2.0ポート ^{※2} を搭載したDOS/Vマシン		
対応OS ^{※3}	Windows Vista ^{※4} / Windows XP / Windows 2000 Professional		
搭載CPU ^{※3}	Pentium III 450MHz以上		
メモリー ^{※3}	128MB以上		
ハードディスク ^{※3}	空き容量:250MB以上(イメージファイル作成時に最大約8.5GBの空き容量が必要です。)		
対応メディア ^{※5}	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD: DVD+R^{※6}、DVD+RW、DVD-R^{※7}、DVD-RW、DVD-RAM^{※8}、DVD-ROM ●C: CD-R、CD-RW、CD-ROM 		
推奨メディア ^{※9}	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層DVD+R	16倍速 (最大24倍速書き込み ^{※11})	太陽誘電
		16倍速 (最大20倍速書き込み ^{※11})	三菱化学
		16倍速 (最大18倍速書き込み ^{※11})	ソニー
	2層DVD+R	8倍速	太陽誘電、三菱化学
		2.4倍速 (最大4倍速書き込み ^{※11})	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	リコー
		4倍速	三菱化学
	1層DVD-R	16倍速 (最大24倍速書き込み ^{※11})	太陽誘電
		16倍速 (最大20倍速書き込み ^{※11})	三菱化学
		16倍速 (最大18倍速書き込み ^{※11})	ソニー、日立マクセル
	2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
		4倍速 (最大6倍速書き込み ^{※11})	三菱化学
DVD-RW	6倍速	日本ビクター、三菱化学	
	4倍速	日本ビクター、三菱化学	
DVD-RAM ^{※10}	12倍速	日立マクセル	
	5倍速	パナソニック、日立マクセル	
CD-R	3倍速	パナソニック、日立マクセル	
	太陽誘電、三菱化学		
CD-RW	三菱化学		

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検査エンジン(PIO)にてご案内しております。 <http://www.iodata.jp/pio/>

※2 パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0環境で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。(Microsoft社製 USB 2.0ドライバ(推奨)増設USB 2.0インターフェイスには対応していません。)

※3 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。

- 搭載CPU: Pentium 4 2.8GHz以上
- メモリー: 256MB以上
- ハードディスク: Serial ATAまたはUltra ATA/66以上(DMA転送モード)
- OS: Windows XP ServicePack 2以降
- チップセット: i915以降

※4 32bitのみ対応。

※5 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。

●DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※6 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※7 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※8 カートリッジから取り出し不可能なメディア(TYPE I)および2.6GB/面のメディアには対応していません。

※9 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。

●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

●メディアメーカーの生産の都合上、入手困難となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※10 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※11 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

1.準備しよう

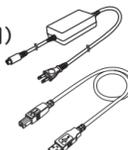
内容物を確認します

にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

ドライブ(1台)



ACアダプター(1個)

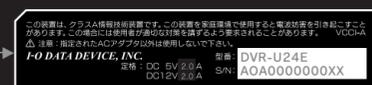


USBケーブル(1本)



シリアル番号(S/N)をメモします

▼サンプル



シリアル番号(S/N)は本製品底面に印字してある12桁の英数字です。(例:A0A0000000XX)

▼シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。



シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

- ユーザー登録 ▶ <http://www.iodata.jp/regist/>
- ファームウェア等のダウンロード ▶ <http://www.iodata.jp/lib/>

ACアダプター(1個)

ゴム足(8個)

セットアップガイド(本書1枚)

DVDツールズコレクション(CD-ROM/1枚)

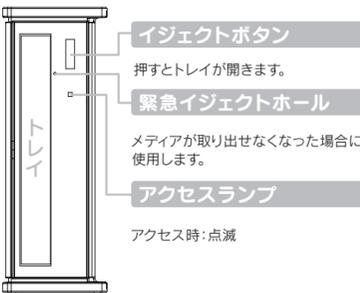
ハードウェア保証書(1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称

ドライブ前面

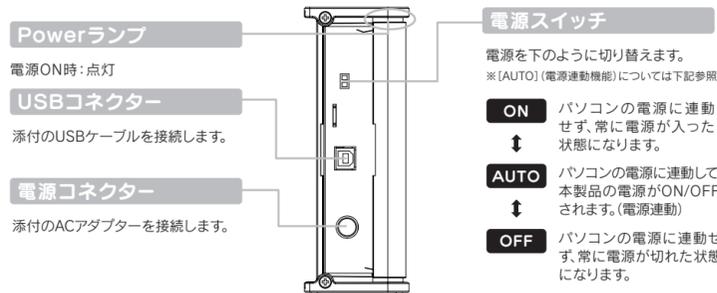


イジェクトボタン
押しとトレイが開きます。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

アクセスランプ
アクセス時:点滅

ドライブ背面



Powerランプ
電源ON時:点灯

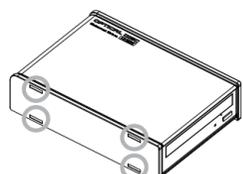
USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

電源スイッチ
電源を下のように切り替えます。
※[AUTO] (電源連動機能)については下記参照。

電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

縦置きにする場合

1 本製品の底面に添付のゴム足を4個取り付けます。

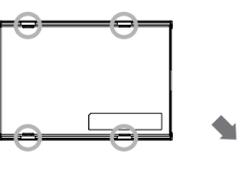


2 イジェクトボタンが上になるように立てます。



横置きにする場合

1 本製品の横面に添付のゴム足を4個取り付けます。



2 イジェクトボタンが右になるように置きます。

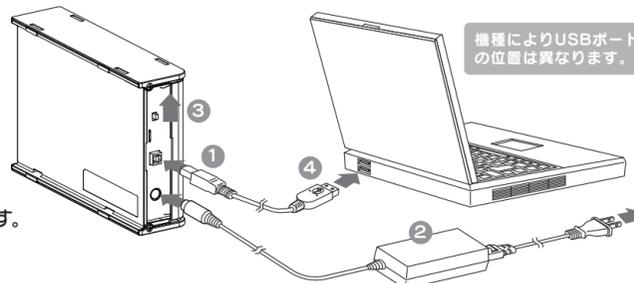


2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合にはWindowsを管理者権限でログオンしてください。

- 1 本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。
- 2 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。
- 3 本製品の電源を[ON]または[AUTO]にします。
- 4 パソコンのUSBポートにつなぎます



本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

- 5 Windowsを起動して[マイコンピュータ](または[コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

- ドライブ文字 (番号) は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。(例: Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。



↑(画面例:Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合)

Windows Vista®でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。

3.取り外し手順を覚えよう

ここではパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例:Windows XP)

- 1 画面右下にあるタスクトレイのリムーバルツールのアイコンをクリックします。
- 2 本製品の表示をクリックします。複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。(画面例:Eドライブの場合)
- 3 メッセージを確認します。(Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。)

- 4 パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
※電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。(Windows Vista®ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)
※ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

製品仕様

インターフェイス仕様	USB 2.0			適合フォーマット	●DVD: DVD-ROM, DVD-Video ●C: CD-ROM Mode1, CD-DA, CD-Extra, CD-I, CD-ROM Mode2 (form1, form2), Video CD, CD-TEXT, PhotoCD							
設置条件	設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)			定格電流	5V: 2.0A, 12V: 2.0A							
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング			電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz							
データバッファサイズ	2MB	書き込みエラー回避機能	搭載	動作温度	+5~+35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)							
最大書き込み/読み込み速度	DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層-R	2層-R	-RW	RAM	1層ROM	2層ROM	動作湿度	20%~80% (結露なきこと)
	書き込み	x24*	x8	x8	x24*	x8	x6	x12	-	-	外形寸法	166(W)×240(D)×60.5(H)(mm (突起部分を除く))
	読み込み	x16	x12	x13	x16	x12	x13	x12	x16	x12	質量	約1.3kg (ACアダプターを除く)
	CD	-R	-RW	ROM								
書き込み	x48	x32	-									
読み込み	x48	x40	x48									

※ USB転送最適化ユーティリティ(マツパUSB for BD/DVD)が無効の場合には最大18倍速となります。

データDVD/CDを早く作る方法 DVDを使ってみよう

Step1 用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

データDVD/CDを作りたい
nero8
 ESSENTIALS
 Writing Solution
 Nero

参考 Nero 8 Essentials
 Writing Solution :
 シリアル番号

ワンクリックでトレイを開く
QuickDrive LE
 I-O DATA

「Nero 8 Essentials Writing Solution」をインストールすると以下の全てのユーティリティがインストールされます。

- 他のデータライティングソフトやバケットライトソフトなどがインストールされていると書き込みに失敗する場合があります。本ソフトウェアをインストールする前に他のデータライティングソフトおよびバケットライトソフトは全てアンインストール(削除)してください。
- 「InCD Essentials」をインストールする場合は、必ず下記Step2の手順に従ってインストールしてください。

用途に合わせてソフトを起動したい	Nero StartSmart Essentials	ランチャー	用途を選ぶだけでデータライティングソフト「Nero ExpressEssentials」を自動的に起動します。
データDVD/CDを作りたい	Nero Express Essentials	データライティングソフト	データディスクや音楽CDなどを、このソフトウェア一つで簡単に作成することができます。
ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい	InCD Essentials	バケットライトソフト	DVD±RW/DVD-RAM/CD-RWにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。

パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐドライブコントロールユーティリティソフトです。(本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。)

画面で見るマニュアル for DVR-U24E
 I-O DATA

本製品の「基本操作」や「困ったときには」などについて説明しています。

Step2 用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合には、Windowsを管理者(Administrator)権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。

※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

2 メニューが表示されたら「インストールする」をクリックします。

3 インストールしたいソフトをクリックします。

4 ●「Nero 8 Essentials Writing Solution」の場合 Neroのインストールメニューより「Nero 8 Essentials Writing Solution」を選択します。詳しくは右記参照。



●「QuickDrive LE」、「画面で見るマニュアル for DVR-U24E」の場合 画面の指示に従ってインストールします。

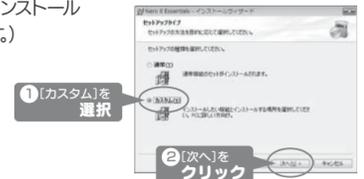
こんな時には… インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進みください。

4-1 「次へ」をクリックします。

4-2 エンドユーザー使用許諾条項をよくお読みいただき、同意する場合は「ライセンス許諾・・・」にチェックをつき「次へ」をクリックします。

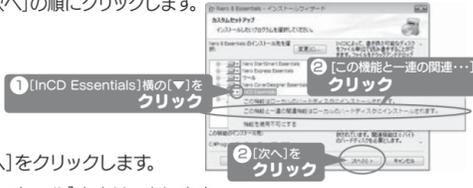
4-3 任意の「ユーザー名」[組織]を入力し、「次へ」をクリックします。(シリアル番号は自動的に入力されます。)

4-4 「カスタム」を選択し、「次へ」をクリックします。(「InCD Essentials」のインストールが不要な場合は、「通常」を選択し、インストールすることも可能です)



4-5 「日本語」を選択し、「次へ」をクリックします。

4-6 「InCD Essentials」横の「▼」→「この機能と一連の関連機能は・・・」→「次へ」の順にクリックします。



4-7 「次へ」をクリックします。

4-8 「インストール」をクリックします。

4-9 「次へ」をクリックします。

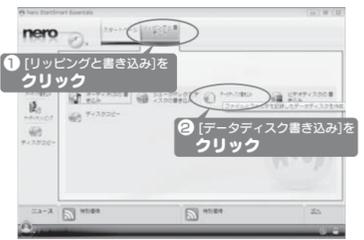
4-10 「完了」をクリックします。

データDVDを早く作る方法 データDVDをつくってみよう

1 Nero StartSmart Essentials ショートカットアイコンをダブルクリックします。



2 [リッピングと書き込み]→[データディスク書き込み]の順にクリックします。



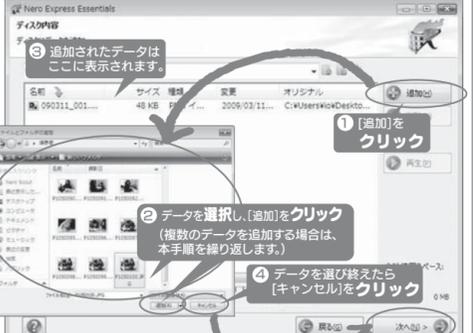
3 「データ」→「データDVD」の順にクリックします。



6 [現在のドライブ]に本製品を選択し、「書き込み」ボタンをクリックします。



5 本製品に書き込み先メディアを挿入します。



完成!

後で追記可能なディスクにする場合 「後でファイルを追加可能にする(マルチセッションディスク)のチェックをつけておくと、以後もファイルの追記が可能です。

困った時には… 添付CD-ROMのメニューより「Q&A」をご参照ください

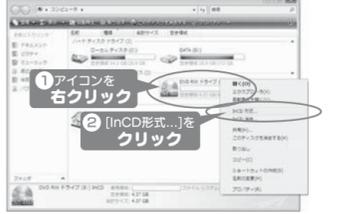
それでもわからなかったら…
 Nero
045-910-0255
 受付時間：10:00～12:30/13:30～17:00
 月～金曜日(土日祝、特定休業日を除く)

データDVDを早く作る方法 DVD-RAMにデータを書き込もう

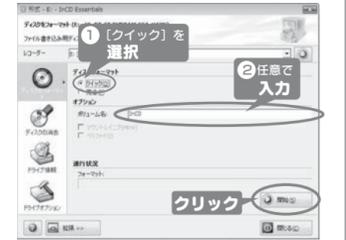
1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。



2 コンピュータ(またはマイコンピュータ)を開き、本製品のアイコンを右クリック→「InCD形式...」をクリックします。



3 ①「クイック」を選択します。②「ボリューム名」は任意で入力します。③「開始」ボタンをクリックします。



5 「OK」をクリックします。これでDVD-RAMメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。



※ ②～⑤の手順は初めてデータを書き込む際のみが必要です。
 ※ DVD±RW、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。
 ※ 「InCD Essentials」はDVD±RW、DVD-RAM、CD-RWでのお使いいただけます。

注意 Nero Express Essentials + InCD Essentialsを使用する際のご注意

- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Nero Express」を起動し、「拡張メニュー」の「ディスク情報」から使用済み容量をご確認ください。
- エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「使用領域」ではOSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- 2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
- また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/RAM/CD-RWメディアは「Nero Express」または「InCD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- なお、書き込みが失敗したメディアの保証はいたしていません。
- 一度「InCD」でフォーマットしたDVD+RW/-RW/RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「Nero Express」または「InCD」でいったん消去してから、「InCD」で再フォーマットしてください。

- DVD+RW/-RW/RAM、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してしてください。
- いったん「Nero Express」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「Nero Express」と本製品を使用してください。
- また、いったん「InCD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「InCD」と本製品を使用してください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 「Nero Express」が対応していないDVD/CDドライブの場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。※本製品添付CD-ROMに収録されているソフトウェアは本製品にのみ対応しております。
- 音楽データを書き込んだCD-RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- 「InCD」はCPRMに対応しておりません。
- 「InCD」で使用できるメディアはDVD±RW/RAM/CD-RWです。

困ったときには?

困ったときは? **nero8** ESSENTIALS Writing Solution で困ったら...

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
 [スタートメニューの「Nero 8」→「Nero Manuals」から起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.nero.com/jpn/support.html

3 サポートに問い合わせる。

株式会社Nero
TEL 045-910-0255
 受付時間… 10:00～12:30/13:30～17:00
 月～金曜日(土日祝、特定休業日は除く)
 ※お問い合わせの際はシリアル番号が必要です。
 シリアル番号は以下の手順で確認することができます。
 ①デスクトップ上の「Nero StartSmart Essentials」アイコンをダブルクリックします。
 ②画面左下のアイコンをクリックし、「ツールボックス」→「Nero ControlCenter」の順に選択します。
 ③Nero ControlCenterウィンドウ左側のアイコンから「ライセンス」をクリックします。
http://www.nero.com/jpn/support.html
 ●E-Mail:上記サポートセンターのサポートフォームよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体やQuickDrive LEで困ったら...

1 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aやソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。

2 ホームページでサポート情報を見る。
 ●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
 ●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
TEL(東京) 03-3254-1095
TEL(金沢) 076-260-3688
FAX(東京) 03-3254-9055
FAX(金沢) 076-260-3360
 受付時間…9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

修理を依頼する前に

- お客様が貼られたシールなどについて 修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
- 修理金額について ■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の保証範囲外に該当する場合は、有料となります。 ※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。 ■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。 ※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。 ■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかどうか検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。)

修理依頼手順

- 1.メモに控え、お手元に置いてください。お送り頂く製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。
- 2.こちらを用意してください。 ■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可) ※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。 ■下の内容を書いたもの ・送先(住所/氏名(あるいはFAX番号)・日中にご連絡できる電話番号 ・ご利用環境(機器構成、OSなど) ・故障状況(どうなったか)
- 3.修理品を梱包してください。 ■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。 ■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。 ※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。
- 4.修理をご依頼ください。 ■修理は、右の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。 ※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はおお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。 ■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

注意 著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権所有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなたが著作権を所有していない場合は、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

商標について

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ機器第2ビル
 株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛
 〒920-8513
 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ機器第2ビル
 株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛
 ホームページ: <http://www.iodata.jp/support/>
 2009.08.07 Copyright © 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.